

現代を自在に語る  
アンサンブル

# Ensemble NOMAD

# #4

- 佐藤紀彦 (指揮者)
- 西澤幸世
- 木ノ原浩亮
- 松浦英光
- 西谷隆
- 野口千代史
- 甲斐麻子
- 高野真生
- 山本真
- 文木麻子
- 堀野雅也
- 中西賢一



## profile

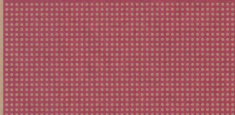
1997年、ギタリスト佐藤紀彦によって結成された注目アンサンブル。若手の才能ある演奏家が集まり、最新なアイデアによるプログラムにより、20世紀そして現代作品を演奏。「NOMAD」(nomad, nomad)の名称にもあわしく、幅広いレパートリーを音域に上げる。メンバーは、常に15人以内の編成を交え、編成もフレキシブルにさまざまな曲に対応する。

1998年4月から22年にかけて開催された19回の定期演奏会も、内外から高い評価を得る。近藤康徳、船岡俊夫のオペラ(リアの物語)、1999年2月新国立劇場ダンスアトロンNO.2、平林利子作品(フグアス)をオランダの作曲家M.J.ヴァル・アーによる編成で演奏初演、東京オペラシティで毎年開催される「コンダクション」や、サンクトペテルブルクのザマフ・フェスティバルでは、各国からも持ち寄られる新進作曲家の最新作の演奏会に出演、世界の「文化」を解きかかえる。2001年は、愛知芸術文化センター、札幌コンサートホールKITARA、大宮芸術センターなど各地で演奏する。

海外との交流も注目に値する。2000年にはオランダ、ベルギーに赴かれ演奏。2001年2月東京で開催された「HOLLAND MUSIC DAYS IN TOKYO」(オランダ音楽フェスティバル)に出演し、オランダと日本の音楽を演奏。シェンベルク没後50年の2001年には定期演奏会で氏の作品6種を、2002年11月には、東京で開催される「グリーン・フェスティバル」に出演する。CDは、近藤康徳作品「種子」(acomet)、空の戦い(acomet)、神聖な社の夜り風を運ぶもの(acomet)が発売されている。

フランス、イギリス、日本、アメリカ、イタリア、カナダなど、世界各地の作曲家による室内楽作品を選びました。時の経過を静かに冥想する音楽から、私たちの身体そのものを刺激するものまで、多様な個性との出会いを期待して下さい。

佐藤紀彦



## アンサンブル・ノマド 2002年度定期演奏会スケジュール

Ensemble NOMAD Concert Schedule in 2002/2003

日	日時	主な曲名
21	2002年 9月17日[火]	ケーシ: 魂安んずはか、メシアン: 時の終わりのための器楽舞曲
22	2002年 11月19日[火]	ラヴェル: 序奏とアレグロ、ドビュッシー: 数種の午後、グリーグ: 作品
23	2003年 1月28日[火]	シュトックハウゼン: マントラ、シェルシ: コ・9ほか
24	2003年 3月25日[火]	アイヴズ、クリスチャン・ウルフ、ライヒなどの作品

東京オペラシティザイバルホール  
電話: 03-5353-0788  
〒100 新国立劇場3-20-2  
東京オペラシティ地下1F  
※ 正統劇場台駅東口下車3分

## 2002年度アンサンブル・ノマド定期会員募集!

### 会員特典

#### ① チケット割引

(チケット4回分 ¥12,000 - ¥10,000 (郵送送料を別途いただきます))

#### ② 定期演奏会4回終了後の懇親会への参加

### 受付期間

2001年11月15日から2002年8月30日まで、  
入会申込書、郵便振替用紙を送付いたします。